Course nui	U-LAS02 20030 LJ37													
	言語構造機能論 The Structures and Functions of Language						Instructor's name, job title, and department of affiliation			Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor, GINSBURG, Jason				
Group Hu	P Humanities and Social Sciences Field(Classification)			arts, Literature and Linguistics(Issues)			
Language of instruction					C	Old group		Group A		Number of credits 2		2		
Number of weekly time blocks				Lectur (Face-	cture ace-to-face course)				Year/semesters		2025 • First semester			
Days and periods				get ye	year 2nd year students or above				Eligible students		For all majors			

(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)

[Overview and purpose of the course]

生成文法における統語理論の基礎について学ぶ。特に、併合はどのように言語の主な現象を説明で きるのかという問いに答えようとする最新の生成文法の立場から言語学の基礎的な課題を紹介する。

[Course objectives]

- ・主に英語と日本語の文の統語構造を例に、生成文法の基礎を学ぶ。
- ・二つの統語要素を組み合わせる併合という簡単な操作に基づいた人間言語のなり立ちの問題についての思考力・考察力・研究能力を育むことを目指す。
- ・統語理論の基礎的なな研究課題を理解できるようになる。

[Course schedule and contents)]

この授業で以下の統語論関連の課題について学ぶ。変更の可能性がある。

第1回:言語の基本的な特徴、極小主義プログラム(The Minimalist Program)の目的と基礎

第2回:品詞と形態素、句構造規則、基本的な樹形図の書き方

第3回:句構造と文の基本的な構造(NP, VP, AdjP, AdvP, PP)

第4回:句構造と文の基本的な構造(TP,CP)

第5回:Xバー理論の基礎

第6回:Xバー理論(NP, VP, AdjP, AdvP, PP)

第7回:Xバー理論 (TP, CP, 意味役割)

|第8回:Xバー理論(役割、動詞句内主語仮説)

第9回:統語要素の移動現象(疑問文など)

第10回:統語要素の移動現象(疑問文まど)

第11回:能動文と受動文

第12回:使役文

第13回:上昇構文とコントロール構文

第14回:発表、まとめ 第15回:フィードバック

Continue to 言語構造機能論(2)

言語構造機能論(2)
[Course requirements]
言語科学I,IIなどの入門科目を履修していることが望ましい。
[Evaluation methods and policy]
参加:20% 宿題と発表:80%
[Textbooks]
使用しない 資料を配布する(英語で書かれている文献を読む場合がある)
[References, etc.]
(References, etc.) Introduced during class
[Study outside of class (preparation and review)]
・準備をすること。 ・宿題をやること。 ・文献を読むこと。 ・授業に積極的に参加すること。
[Other information (office hours, etc.)]
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。